

令和6年度修士課程及び専門職学位課程進学予定者に係る 特に優れた業績による返還免除内定候補者 申請案内

本制度の概要

返還免除内定候補者になると、修士課程及び専門職学位課程（以下「修士課程等」という。）において貸与を受けた第一種奨学金の全額又は半額が免除される可能性があります。元々、修士課程等にも第一種奨学金の返還免除制度は存在しますが、本制度は入学時点でその権利を得ることができるというものになります。ただし、全額なのか半額なのかは貸与中の業績により修了時に決定します。詳細は本ファイルの4ページを確認してください。

本年度の推薦枠

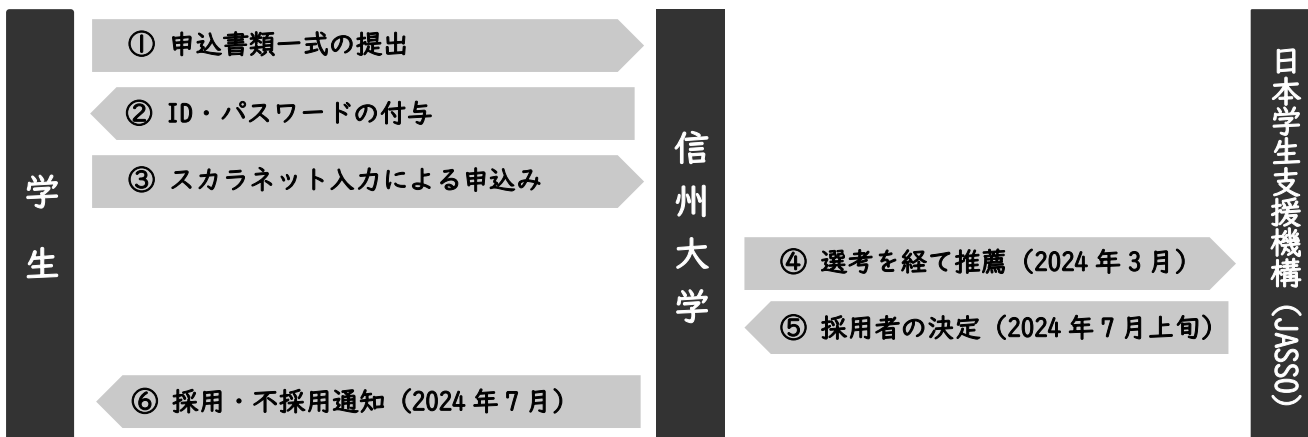
修士課程	「科学技術イノベーション創出に寄与する分野（情報・AI、量子、マテリアル等）」 8名 「大学の強みや地域の強み等を生かした分野」 5名
専門職学位課程 （教育学研究科高度教職実践専攻）	募集なし（今年度は本制度の推薦枠はありません）

本制度の対象者

令和6年度に修士課程又は専門職学位課程へ進学し、第一種奨学金の貸与を受ける予定で、以下のいずれも該当する者。（留学生除く。外国籍の学生の場合は「法定特別永住者」、「永住者」、「定住者」等のみが対象）

- ◆ 学部において日本学生支援機構給付奨学金を利用していること（資産理由、自己都合の停止は可、所得理由の停止は不可）又は住民税非課税世帯（本人及び生計維持者の市町村民税所得割額が0円）であること。
- ◆ 「科学技術イノベーション創出に寄与する分野（情報・AI、量子、マテリアル等）」又は「大学の強みや地域の強み等を生かした分野」への進学を希望していること。
- ◆ 将来、上記分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な能力を備えて活動できると認められること。

申込から採用までの流れ



受付期間（上記図①、③）

◆ 期間内に申込書類の提出及びスカラネット入力を行わなかった場合、申込みは無効です。


① 申込書類一式の提出	2023年10月27日（金）～11月2日（木） 9時～17時【厳守】
-------------	---

▼（受付後）

③ スカラネット入力による申込み （本ファイル7～8ページの下書き用紙を参考に）	～2023年11月3日（金） 23時まで【厳守】
---	---------------------------------

書類の提出について

以下の書類1～3を上記受付期間内に下記提出先へ提出してください。

1	確認書 ・本ファイル6ページを使用してください。
2	本人及び生計維持者の令和5年度所得・課税証明書 ・確認書の「確認3」において「父母2名」を選択した場合 ⇒本人及び父母の令和5年度所得・課税証明書（3名分） 確認書の「確認3」において「ひとり親世帯」を選択した場合 ⇒本人及び父又は母の令和5年度所得・課税証明書（2名分） 確認書の「確認3」において「本人又は父母以外が生計維持者」を選択した場合 ⇒事前に相談してください ・所得金額、課税額、控除が記載された、記載省略のない証明書(全項目証明)を市区町村の役場に申請して、入手してください。原則、令和5年1月1日現在で住民票登録のあった市町村で発行されます。 ・所得がない場合であっても、非課税証明書等の名称で発行されますので、必ず提出してください。
3	申請書 ※大学所定用紙  ・本様式は Word 版をダウンロードし、入力してください。（手書き不可）

提出先

キャンパス	提出先（問い合わせ先）
松本キャンパス	学生総合支援センター TEL 0263-37-2199
長野（工学）キャンパス	工学部学務係奨学金窓口 (TELでの問い合わせは上記へ)
長野（教育）キャンパス	教育学部学務係奨学金窓口 (")
伊那キャンパス	農学部学務係奨学金窓口 (")
上田キャンパス	繊維学部学務係奨学金窓口 (")

※学外の方は以下へ郵送してください。

〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1 信州大学学生総合支援センター経済支援 G 宛

注意事項

- ◆ **修士課程等において貸与を受けた第一種奨学金が返還免除対象となり、本制度への申請とは別に第一種奨学金の申請を行う必要があります。**（本制度に申請したことで自動的に第一種奨学金に申請したことにはなりません）予約採用あるいは修士課程等進学後の在学採用で、第一種奨学金を申請してください。ただし、本学では予約採用の採用者を優先して推薦する予定です。
- ◆ 返還免除内定候補者として採用されたことをもって、返還免除が確定するわけではありません。**貸与終了時に改めて「特に優れた業績による返還免除」への申請が必要です。**
- ◆ 返還免除内定候補者に採用された場合は中間評価があり内定者として相応しい成績を挙げているかどうか確認します。学業成績不振などにより、内定を取り消される場合があります。
- ◆ 今回の返還免除内定候補者に採用されなかったとしても、貸与終了時の「特に優れた業績による返還免除」に申請することは可能です。今回は35%の枠のうち、5%分の枠を決定するだけですので、「特に優れた業績による返還免除」の対象となるチャンスがなくなるわけではありません。

特に優れた業績による奨学金返還免除制度

修士課程に内定制度が創設されます

修士課程及び専門職学位課程（以下「修士課程等」）へ
令和5年度に進学を予定している方から対象

修士課程等へ進学する前年度に進学を予定している大学院を通じて申請できます
(対象となる大学院へは機構から通知します)

制度創設の目的

優秀な低所得世帯の大学学部生等に対して、修士課程等での修学に係る経済的不安を早期に
解消し、進学へのインセンティブを高めることを目的としています

免除者の割合

これまでの第一種奨学金貸与終了者数に対する30%とは別に、新たに5%が内定制度限定の
推薦枠として、対象となる大学院に配分されます

対象要件

以下のいずれも満たす必要があります

- ① 大学学部等において修学支援新制度を利用していること 又は 非課税世帯であること
- ② 科学技術イノベーション創出に寄与する分野（情報・AI、量子、マテリアル等）又は 大学の強みや地域の強み等を生かした分野への進学を希望していること
- ③ 将来上記②の分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を備えて活動することができると認められること

選考方法

上記の「対象要件」を満たしていることを大学院において確認したうえで、大学院入試の成績
やこれに代わる大学学部の成績等をもとに、文部科学省令で定める各業績について十分な成果
を挙げる見込みがある者として、総合的に評価し選考されます

中間評価

内定者となった場合は 年に1回中間評価があり 内定者として相応しい成績を挙げているかどうか
確認します（学業成績不振などにより、内定を取り消される場合があります）

貸与終了時には 改めて業績免除の申請をする必要があります

第一種奨学金の申込みは 別途手続きが必要です
内定制度の申請をただけでは 第一種奨学金は受けられません

◆◆◆詳細は 進学予定の大学院にお問い合わせください◆◆◆

【参考】大学院 第一種奨学金(無利子奨学金) 特に優れた業績による奨学金返還免除制度の概要

大学院（修士課程・専門職学位課程・博士課程）において 第一種奨学金の貸与を受けた学生で貸与期間中に特に優れた業績を挙げたと認められる場合には 貸与期間終了時において その奨学金の 全部又は一部（半額）の返還が免除される制度です

業績の種類

文部科学省令で定める次の専攻分野に関する業績について 各大学院において設定する具体的な評価項目により総合的に評価が行われます

- 一 学位論文その他の研究論文
- 二 大学院設置基準（昭和四十九年文部省令第二十八号）第十六条第一項に定める特定の課題についての研究の成果
- 三 大学院設置基準第十六条の二に定める試験及び審査の結果
- 四 著書、データベースその他の著作物（第一号及び第二号に掲げるものを除く。）
- 五 発明
- 六 授業科目の成績
- 七 研究又は教育に係る補助業務の実績
- 八 音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績
- 九 スポーツの競技会における成績
- 十 ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績

申請方法

奨学金の貸与が終了した月の属する年度※に大学を通じて申請する必要があります
大学では推薦者の選考を行い 貸与終了者数に応じた推薦枠の範囲内で 機構に推薦します
機構では大学から推薦のあった方について 学識経験者により構成する認定委員会において免除者を決定します

※貸与期間中に挙げた業績が対象となります（在学期間中ではありません）

免除の実績【令和3年度貸与終了者】

修士課程	貸与終了者数	18,820人	免除者数	5,646人
専門職学位課程	貸与終了者数	937人	免除者数	281人
博士課程	貸与終了者数	2,088人	免除者数	876人

博士課程内定制度

博士課程1年次に進学し 第一種奨学生として採用された人を対象に 貸与終了時に申請する特に優れた業績による返還免除の内定者として 決定する制度です

文部科学省関連機関が行う 主な競争的研究事業における 採択状況を勘案し対象となる大学に対し 推薦枠を配分します

詳しい情報はこちら

日本学生支援機構ホームページ

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/saiyochu/gyosekimenjo/index.html>



確 認 書

学籍番号		氏名		携帯電話	
------	--	----	--	------	--

確認1：令和6年度に信州大学の修士課程に進学予定ですか？（☑してください）

<input type="checkbox"/> 信州大学の修士課程に進学します。	対象者
<input type="checkbox"/> 信州大学の専門職学位課程（教育学研究科高度教職実践専攻）に進学します。 →今年度の募集において信州大学の専門職学位課程に推薦枠はありません。	対象外
<input type="checkbox"/> 信州大学以外（他大学）の修士課程等に進学します。 →進学先の大学に申請方法等について確認してください。	

確認2：現在、日本学生支援機構給付奨学生ですか？（☑してください）

<input type="checkbox"/> 第Ⅰ区分 <input type="checkbox"/> 第Ⅱ区分 <input type="checkbox"/> 第Ⅲ区分 <input type="checkbox"/> 停止中（資産理由、自己都合）	<input type="checkbox"/> 現在申請中（不採用の場合は対象外です）	対象者
<input type="checkbox"/> 停止中（所得理由） <input type="checkbox"/> 日本学生支援機構給付奨学生ではない	<input type="checkbox"/> 本人・生計維持者の市町村民税 所得割額が非課税(0円) <input type="checkbox"/> 本人・生計維持者の市町村民税 所得割額が非課税(0円)ではない	

- * 現在の支援区分をスカラネットパーソナルから必ず確認してください。
- * 本人・生計維持者の市町村民税の所得割額は令和5年度所得・課税証明書を確認してください。

確認3：生計維持者の人数は？（☑してください）

<input type="checkbox"/> 父母2名	
<input type="checkbox"/> ひとり親世帯等	<input type="checkbox"/> 父又は母と死別した
	<input type="checkbox"/> 父母の離婚等により、父母いずれかと本人は別生計 ※「離婚等」には、離婚調停中、DVによる別居中、又は未婚の場合なども含みます。
	<input type="checkbox"/> 父又は母が、生死不明、意識不明、精神疾患のため、意思疎通ができない
<input type="checkbox"/> 本人又は父母以外が生計維持者	<input type="checkbox"/> 両親と死別した
	<input type="checkbox"/> 両親が、生死不明、意識不明、精神疾患のため、意思疎通ができない
	<input type="checkbox"/> 本人が結婚しており、両親ではなく、本人自身もしくは配偶者が家計を支えている

- * 生計維持者は父母がいる場合は原則として父母2名です。
- * 生計維持者を「父母2名」以外とする場合の詳細については以下を確認してください。
https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/kyufu/kakei/seikei_izisha.html



【大学使用欄】（学生は記入しない）		
受付日		対応者
不足	なし あり（期限 確認書 所得・課税（本 父 母）	
	a	b
本人		
生計維持者1		
生計維持者2		
	①	② 読

学籍番号		氏名		整理番号	(学生入力不要)
------	--	----	--	------	----------

<p>1 進学予定の修士課程等が該当する方に「○」を入力してください。両方に該当する場合も、自身がより該当すると思う方を選択してください。</p>	
	科学技術イノベーション創出に寄与する分野（情報・A I、量子、マテリアル等）
	大学の強みや地域の強み等を生かした分野

令和3年4月1日に施行された「科学技術・イノベーション基本法」において、これまで科学技術の規定から除外されていた人文・社会科学の分野も、同法の改正により科学技術の範囲に位置付けられており、情報・A I、量子、マテリアル等の分野と連携しているような分野であれば、人文・社会科学の分野であっても「科学技術イノベーション創出に寄与する分野（情報・A I、量子、マテリアル等）」を選択することができます。

(参考) 科学技術・イノベーション基本法 第3条第2項

科学技術・イノベーション創出の振興に当たっては、広範な分野における各分野の特性を踏まえた均衡のとれた研究開発能力の涵かん養、学際的又は総合的な研究開発の推進、基礎研究、応用研究及び開発研究の調和のとれた発展、学術研究及び学術研究以外の研究の均衡のとれた推進並びに国の試験研究機関、研究開発法人、大学等、民間事業者その他の関係者の国内外にわたる有機的な連携について配慮されなければならない。また、自然科学と人文科学との相互の関わり合いが科学技術の進歩及びイノベーションの創出にとって重要であることに鑑み、両者の調和のとれた発展について留意されなければならない。

2 ～ 4の審査の観点は以下のとおりです。参考にしてください。

入力内容	審査の観点
2 学士課程（学部）の学習・研究活動において努力したこと、成し遂げたこと	<ul style="list-style-type: none"> ・内容が具体的で明確であるか ・学士課程（学部）の学習・研究活動において努力したこと、成し遂げたことが優れているか
3 修士課程入学後のビジョン（学びを希望する理由・研究計画・学業以外）	<ul style="list-style-type: none"> ・学びを希望する理由が具体的で明確であるか ・研究計画が具体的で明確であるか、また優れているか ・学業以外のビジョンが具体的で明確であるか
4 修士課程修了後のキャリアイメージ及び大学院で学んだことをどのように社会に還元していきたいか	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院修了後のキャリアが具体的にイメージできているか ・大学院修了後のキャリアイメージが修士課程において学びを希望する理由や研究計画等との整合性があるか ・学んだことを社会に還元することが具体的にイメージできているか

2 学士課程（学部）の学習・研究活動において努力したこと、成し遂げたことを 1000 字程度で記載してください。

なお、論文掲載や学会発表等の業績がある場合には次ページ「業績一覧」に当該業績を記載するとともに、その概要等を示す資料を提出してください。

※必ず 1 ページに収まるように作成し、フォントは変更しないでください。

※1 ページに収まるのであれば図表を挿入しても構いません。

※この文章は作成時、削除してください。

業績一覧表

項目	業績	資料 No.
研究論文 学会発表		No. 1
研究論文 学会発表		No.2
研究論文 学会発表		No.3
研究論文 学会発表		No.4
研究論文 学会発表		No.5

【業績一覧表 作成方法】

- ・ 以下、記入例に従い作成してください

記入例	業績	資料 No.
研究論文	① <u>本人氏名</u> 、共著者名、②論文名、③学術雑誌名（該当頁）、④発行日（西暦） ※「本人氏名」にアンダーラインを付してください。 ※論文作成に最も貢献した者である場合にはその旨を記載してください。	No.X
学会発表	① <u>本人氏名</u> 、共同発表者名、②題目 ③会議名、④主催者名、⑤発表日（西暦）、⑥ポスター賞受賞等 ※「本人氏名」にアンダーラインを付してください。 ※学会発表に最も貢献した者である場合にはその旨を記載してください。	No.X

- ・ 提出する根拠資料の右上に業績一覧表の右端に記載の「資料 No.」を記載してください。
- ・ 提出する根拠資料が複数ある場合、「資料 No.」ごとに PDF にするのではなく、すべてまとめて一つの PDF にしてください。その際、「資料 No.」順に並ぶようにしてください。
- ・ 「研究論文」の根拠資料は論文全体のコピーではなく、論文の概要が確認できるものを提出してください。ただし、「著者名」、「論文名」、「学術雑誌名」が確認できるものとしてください。
- ・ 「学会発表」の根拠資料は発表内容全体のコピーではなく、発表内容の概要が確認できるものを提出してください。ただし、「発表者名」、「発表題目」、「会議名」が確認できるものとしてください。
- ・ 自身が「共著者」、「共同発表者」であるものを含めて構いません。
- ・ 研究論文／学会発表以外の内容を記載したい場合は「研究論文／学会発表」を適宜修正してください。
- ・ 上表に入りきらない場合はこの【業績一覧表 作成方法】を削除して構いません。

3 修士課程入学後のビジョン（学びを希望する理由・研究計画・学業以外等）を 1000 字程度で記載してください。

※必ず 1 ページに収まるように作成し、フォントは変更しないでください。

※1 ページに収まるのであれば図表を挿入しても構いません。

※この文章は作成時、削除してください。

4 修士課程修了後のキャリアイメージ及び大学院で学んだことをどのように社会に還元していきたいかを500字程度で記載してください。

※必ず1ページに収まるように作成し、フォントは変更しないでください。

※1ページに収まるのであれば図表を挿入しても構いません。

※この文章は作成時、削除してください。

進学予定先情報・在学情報

B-あなたの進学予定先情報・在学情報

1. 進学予定先大学院

(1) あなたの進学予定先大学院名は 学生支援大学 ですね。

はい いいえ

(2) あなたの進学予定先課程を選択してください。

(3) あなたの進学予定先研究科を選択してください。

(4) あなたの入学予定年月を記入してください。

西暦（4桁） 2024 年 4 月 入学予定

半角数字

(5) あなたの修了（見込）予定年月を記入してください。

西暦（4桁） 年 3 月 修了（見込）予定

半角数字

(6) あなたの大学院進学目的と研究計画を記入してください。（全角400字以内）

2. 在学している（在学していた）学校

(1) あなたが在学している（在学していた）学校を選択してください。

(2) あなたは専攻科（上級学科）に在学しています（在学していました）か。

専攻科（上級学科） いいえ

(3) あなたが在学している（在学していた）学校名の読みの先頭1文字を選択してください。

あなたが在学している（在学していた）学校名を選択してください。

(4) あなたが在学している（在学していた）学校の学籍（学生証）番号を記入してください。

半角英数字記号

(5) あなたが在学している（在学していた）学部（科）・研究科を選択してください。

(6) あなたが在学している（在学していた）学校に入学した年月を記入してください。

西暦（4桁） 年 月

半角数字

(7) あなたが在学している（在学していた）学校の卒業（予定）年月を記入してください。

西暦（4桁） 年 月 卒業（予定）

半角数字

(8) あなたは現在給付奨学金を受給していますか。

はい いいえ

「はい」と答えた人は、給付奨学生番号を入力してください。

給付奨学生番号
(例：52104999999)

(9) あなたは住民税非課税世帯（市区町村民税の所得割額が「0円」）ですか。

または、修学支援新制度の授業料減免のみを利用していますか。

はい いいえ

・大学院名が正しく表示されているか確認してください。

・課程を選択してください。
・本制度対象外の課程を選択すると次の画面に進めません。再度対象者の要件を確認して下さい。

選択肢：修士・博士前期/専門職大学院(法科大学院)/専門職大学院(法科を除く)/一貫制博士/博士後期/博士医・歯・獣医・薬学(6年制学部卒)

・学部（科）・研究科を選択してください。

・選択肢として、上記(3)に入力した学校の学部（科）・研究科が表示されます。

・左記の年月と異なる場合は変更してください。

・数式・記号含め全角文字で入力してください。

・学校を選択してください。

選択肢：大学/短期大学/高等専門学校/専修学校(専門課程)/その他
・海外の大学に在学している（在学していた）方は「その他」を選択してください。

・先頭1文字を選択してください。

・学校名を選択してください。

・半角英数字や半角ハイフン(-)以外の文字が使われている場合、学校の指示に従ってください。

・学部（科）・研究科を選択してください。

・選択肢として、上記(3)に入力した学校の学部（科）・研究科が表示されます。

2.(8)、2.(9)でどちらも「いいえ」となる方は対象外です。対象要件を確認して下さい。

・上3桁、中2桁、下6桁に分けて記入してください。

・上の質問で「はい」を選択すると活性化します。
選択肢：01/02/04/08/09

※送信前に再度入力内容に間違いがないか確認してください。

※入力完了後に表示される受付番号は、表面の「受付番号メモ欄」に転記してください。

(注) 給付奨学生は非課税世帯・授業料減免利用者であっても「いいえ」を選択してください